



◆衆議院選挙の結果は、今後の私たちの生活と活動が、かなり厳しくなることを覚悟させるものでした。緊急に鎌田慧さんと針生一郎さんにそれをめぐる対談をお願いしました。

◆ホッとするニュースは、六者会談が決裂にいたらず、何とか共同声明が出たことでした。まだまだ問題は続くでしょうが……。憂うべきニュースは、次の国会に、国民投票法案や「共謀罪」「自立支援法」などが上程、審議されることです。

◆9月2日に開かれた「読者懇談会」には、20人以上もの参加者があり、執筆者の諸橋泰樹さんを囲んでモニユメント（記念碑）や慰霊を巡る問題など活発な意見交換がされ、初の試みとして大成功でした。次回は10月7日、針生一郎さんを発言者にお願ひして開催されます。ご参加を。（同封のチラシ参照）

市民の意見30の会・東京 2005年7～8月 会計

1. 収入	
一般会費	431,500
協力会費	106,700
敬老会費	97,000
身障者会費	42,000
(会費小計)	(637,200)
カンパ(*1)	690,896
ニュース販売	8,400
バッジ等販売	16,000
条約寄金	11,000
銀行利息	10
立替金精算(*2)	16,565
預かり金(*3)	84,150
収入計	1,464,221

2. 支出	
印刷費(*4)	258,963
発送費(*5)	125,976
通信費(*6)	27,178
事務用品	13,000
編集費	5,070
制作費	
会場費	2,000
賛同費(*7)	1,000
事務所費	220,000
光熱費	14,317
送金手数料	566
預り金精算(*8)	91,150
雑費	3,489
支出計	759,220

3. 収支	
	+705,001
前月から繰越	3,588,120
次月への繰越	4,293,121

残高の内訳	
会基本会計	2,166,630
条約基金	176,715
次期意見広告	1,326
F/I基金	1,916,240
預り金(*7)	32,210
計	4,293,121

注 (*1)内、¥418,000は故吉川祐子氏からのカンパ、F/I基金に編入。(*2)光熱費と電話料の意見広告運動分担分 (*3)内、意見広告運動へが ¥79,150 (*4)内、News No.91印刷費が ¥235,913 (*5)内、News No.91 発送費が ¥96,308 (*6)内、biglobe ¥4,200 他は電話料 (*7)シャロン抗議実行委 (*8)内、市民意見広告運動への預かり金 ¥82,150

◆『ニュース』の活字を、まだ全部ではありませんが、かなりのページで1ポイント大きくしましたが、お気づきになったでしょうか。（このページはこれまでと同じ9Pです。）年配の読者も少なくなく、字が小さくて辛いというご意見を前からいただいております。

◆今号では、会員の出版物ご案内や書評などが紙面が足りず、次号回しになりました。次号では、アメリカの反戦運動の状況などについて、室謙二さんに寄稿をお願いしています。

◆アメリカも日本も、ハリケーンや台風といった自然の猛威の前に多数の犠牲者や膨大な資産の損害を出しています。人命をまもるためには、戦争や武器の生産どころではないはずなのですが……

◆あまりにひどい周囲の状況に、せめて『ニュース』の表紙では、と、金子さんにお願ひして、癒しの切り絵に。（YY）

『ニュース』91号中の一部に印刷の誤りがある

りました。①18ページ中段、終わりの部分で「平和記念館」は、「平和祈念館」の誤りでした。②また、12ページ上段15行目の「〇五年の「日韓併合」は、「一九一〇年の」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

会計係より

今期も黒字会計で、会の基本会計が30万円以上、ほかにF/I基金が40万円以上増加しています。ありがとうございます。

F/I基金とは、会員だった故藤本義一さんからの大口カンパと、金澤の伊澤幸治さんからの大口カンパを合わせて設けられた基金で、会の活動に臨時に必要となる大きな出費や、一時的な立替金などに対する備えになっているものです。

8・9月の新規入会は20名でした。6・7月に比べると、少しトーンダウンしています。お知り合いの方にぜひ『ニュース』をお勧めください。見本誌をすぐにお送りします。